

各地区業況アンケート結果（2020年11月調査分）

（2020年11月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

11月24日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ77名の回答があり（回答率54.6%）その結果が下記のとおりまとめましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 6割強の企業が前年割れ

問1】貴社の10月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	7	6	16	15	32	76	75
比率	9%	8%	21%	20%	42%	DI-78	DI-132
売上金額/前年同月比	7	7	15	11	37	77	76
比率	9%	9%	20%	14%	48%	DI-83	DI-130

2. 収益状況回復、黒字約5割に

問2】貴社の10月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	16	22	26	9	4	77	75
比率	21%	28%	34%	12%	5%	DI+48	DI+3

3. 盛り上らず低調のまま推移

問3】貴社の営業窓口から見て11月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		3	32	16	4	55	-38	-29
民間建設向		3	29	21	8	61	-56	-43
自動車向	1	6	22	3	3	35	-3	-17
その他需要家向		6	36	14	6	62	-32	-31
仲間取引	2	5	36	17	5	65	-28	-40
計	3	23	155	71	26	278	-34	-34
比率	1%	8%	56%	26%	9%			

4. 冬場に入り先行きの需要も厳しい状況

問4】貴社における向う12月から2月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	0	12	32	20	12	76	74
比率	0%	16%	42%	26%	16%	DI -42	DI -11

5. 薄板類が不足ぎみ傾向

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	品種別	A	B	C	D	E		11月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI												
-27	-34	-9	-21	-25	-31	-32	-38	-24	-25	-4	0	-7	鉄筋用丸鋼		2	24	3	1	30	-10
-28	-25	-21	-29	-17	-27	-32	-26	-35	-38	-17	-15	-16	構造用丸鋼		1	25	2	1	29	-10
-12	-6	-15	-12	-6	-17	-26	-23	-25	-23	-14	-9	-13	平角鋼		1	27	4	1	33	-15
-18	-13	-6	-16	-30	-13	-31	-30	-20	-19	-4	-3	0	H形鋼		2	28	1	1	32	-3
-11	-19	-22	-16	-28	-36	-29	-38	-38	-41	-33	-29	-21	コラム		1	19	4	1	25	-20
-16	-17	-22	-16	-17	-18	-16	-24	-34	-29	-14	-12	-9	小形山形鋼		2	26	5	1	34	-15
-21	-22	-29	-30	-24	-24	-25	-33	-30	-26	-10	-12	-12	中形山形鋼		2	27	5	1	35	-14
-29	-19	-26	-26	-20	-24	-32	-39	-40	-27	-18	-12	-13	溝形鋼		2	26	6	1	35	-17
-30	-31	-29	-26	-20	-24	-18	-21	-30	-27	-27	-17	-23	軽量形鋼C形		1	25	4	1	31	-16
-16	-15	-18	-26	-15	-15	-17	-26	-21	-25	-25	-16	-26	軽量形鋼広巾			15	2	1	18	-22
-53	-53	-47	-61	-58	-58	-71	-65	-70	-57	-58	-41	-3	冷延薄板	1	6	18	3	1	29	10
-56	-60	-47	-55	-55	-56	-73	-58	-71	-64	-54	-35	0	熱延薄板	2	13	16	2	2	35	31
-59	-53	-52	-63	-68	-66	-76	-64	-62	-53	-57	-34	13	表面処理鋼板		12	15	1	2	30	23
-53	-56	-58	-64	-65	-70	-85	-77	-78	-80	-67	-47	18	酸洗鋼板	4	9	15	2	2	32	34
-51	-50	-48	-56	-51	-49	-64	-61	-71	-46	-49	-22	15	中板		13	27	3	1	44	18
-51	-49	-49	-49	-44	-63	-63	-72	-60	-46	-52	-41	-8	厚板		5	28	6	1	40	-8
-28	-22	-32	-29	-47	-50	-26	-25	-29	-29	-42	-40	-11	極厚板		1	17	3	1	22	-18
-27	-21	-23	-25	-18	-20	-32	-21	-33	-26	-24	-21	-10	縞板	2	1	26	3	1	33	0
-30	-28	-27	-28	-32	-30	-39	-38	-45	-36	-33	-26	-20	中径角		1	28	4	1	34	-15
-15	-19	-5	-18	-20	-20	-24	-27	-21	-22	-23	-19	-23	ガス管黒		1	30	3	1	35	-11
-16	-17	-5	-17	-21	-20	-27	-27	-23	-29	-19	-18	-18	構造用鋼管			27	3	1	31	-16
-31	-30	-28	-33	-32	-35	-40	-41	-41	-37	-31	-22	-8	計	9	76	489	69	24	667	-3

6. 需要少ない中、メーカー値上げで市況追い付かず不安

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	北海道の丸棒需要は道央圏を除き激減。にもかかわらず、メーカー価格は上昇。需要減の中の価格の上げは得意先に受け入れづらく困難な市況が続く。
	B	(形鋼) 今年の秋需は盛り上がり欠ける結果となった。これから冬場となり需要は下がる。その中で11月は値上げ実施の正念場を迎えている。
	C	状況は日に日に悪くなってきている。今月、某大手企業の工場の撤退が発表された。地元の基幹産業であったため地元の影響は計り知れない。
東北	A	日銀短観は改善で報じられているが、自動車がメインで地方にはその影響が届いていない。公共、民間とも働きは今一つ。
	B	新規案件は少ない。値上げも思うようにならない。安値は出てくる。この先心配。
	C	丸棒の新規受注物件、引合い物件とも少ない。
	D	丸棒は強みだが、ゼネコンに価格が通りにくい。先の大型物件しか出てきていない。
新潟	A	一部業種で生産が少し上向いている様子だが、我々には実感が無い。タイト化が心配される鋼材もあるので、値戻しに努力したい。
	B	メーカーからの値上げアナウンスはあるが、客先への転嫁はできない現状。11月より冬の時期に入ることから仕事の落ち込みが予想される。
	C	価格転嫁のアナウンスをし、適正な利益の確保に努めていきたい。
	D	ファブは冬場の仕事が確保できるようになった。県外物件が主体で、県内物件は依然少ない状況である。
	E	車好調、建機やや良、他業主は低位安定。毎週金曜日の現業分の休業は継続中。
	F	需要なき中での値上げに苦労している。メーカー事情からすれば、簡単には妥協しないので、我々も不退転の覚悟で値上げをしなければならない。
	G	ファブは足元、物件の端境期となっており、小口案件中心になんとか繋がっている状況。年明け以降は更に厳しくなる様子。製造業関連でも、一部生産活動が戻りつつある業種もみられるが、先は不明瞭となっている。
神奈川	A	工作機械、民間建設、公共建設すべてで不調の月であった。受注残も少なく、1ヶ月先の手配分も切断している状況。
	B	暫くは現状の低位安定が続くような雰囲気は予想される。しかし、一般形鋼関連の市況が上昇傾向のため止まっている案件は早めの手配を進めると思われる。その辺り多少期待したい。
	C	業界により濃淡はあるが、少しずつ需要は回復している。コロナ感染状況をみればこの先どう転ぶかわからない。原料高もあり、値上げは理解するも厚板の需要量は増えておらず、切板価格は依然と厳しい状況である。
東京	A	特殊鋼鋼板に関しては10月契約分より値上げ要請あり。需要が落ち込む中、価格転嫁に苦慮している。自動車、輸出関連が好調なためコイル、薄板が非常にタイトとなり、納期の延長、枠のカット要請がメーカーよりきている。
	B	需要が出てきているような実感はないが、高炉メーカーのロールがきつくなっている分、市中がたいぶ引き締まってきた様に感じる。年内さらに厚板の状況が厳しくなると思うが値上げをなるべく早いタイミングで達成できるかが今後の課題。
	C	(鉄筋の店売り) 10月は稼働も多く、低位ながらも秋需もあった。11月も同じ動きだと思われる。建値も上がっている。

東京	D	メーカーの値上げのアナウンス。価格転嫁をどんどん進めていきたい。
	E	自動車向けは好調ということだが、街場（特に関東）ではそれを実感できないのが現状。
	F	一時、建築関係の仕事が動いたが受注量の伸び悩みが続く。
	G	10月以降、酸洗、中板の入荷遅れで価格の変化があり、状況が大きく変わってきた。
静岡	A	目先、鉄骨需要は上位グレード、年内まで低調。新規案件の見積りが少なく、鉄骨価格も下落中。流通の価格転嫁も主力商材では厳しく、年内はほぼ現行推移と思われる。
	B	鉄骨ファブに変わりはない。人手不足による加工、図面の遅れは日常的である。受注価格は変化ありと聞くが詳細は想像の範囲に留まっている。（余裕あり）平成17年から地元の直轄事業である国交省の地すべり対策工事が継続している。某工区への材料供給のご用命を頂いたが、作業現場の進捗に準じた対応となり、元請先と情報共有は必至。産業パレット業者の受注価格が低すぎることは受注競争の激しさがこの状況下でも続いている証。隣国品と不良品の多さも影響しているとも聞いているが大手コイルセンター業者もこの業界への仕切りは大手流通とともに検討してほしい。建売から注文住宅造傾向のハウジング会社が総工費を下げるため国交省が勧める鋼管杭基礎が布基礎、木造建に変更が多そうである。信用不安の情報で大きな騒ぎは現在のところない。
石川		工作機械中心のモノ造り業界は低位で一進一退が毎月続いている。まだまだ先が見えない。その他のモノ造り業界は底を脱したが、水面にはまだきていない。物流関係と環境、公共工事関連は産業界を索引しているので更に増えることを願う。公共関連は特に大きく出動させる責任がある。この際、首都圏分散を実行して地方復活を実現させる責任もある。
富山		収支悪化のためコストダウンを進めるユーザーも出始めている。メーカー値上げ幅の価格単価もままならぬ取引先もあり収益悪化傾向。高炉再稼働の移行時に一般向け薄板類が品薄となり、仕事元以上に表面処理鋼板が不足ぎみである。仕事は出てこないが、熊（くま）は良く出てきて新聞紙上をにぎわしている。
岐阜	A	他地区からの売込みで地域相場が安くなっていく。このまま成り行きにまかせていくしかないのか。単にコスト、クオリティ、スピードをサービスしているだけである。戦略として行っているのだろうが、正直「困った」というより「つままない」感じ。確かに優秀なセールスマン人材もいらずに良い作戦。他業種の営業マンと比較してどうなのか。他地区からでなく、他業種から攻められたらと考えてしまう。「つままない」から。
	B	需要動向としては厳しい状況が続いている。メーカー値上げに市況が追いついてない。自動車以外の需要がでてこないと価格転嫁の浸透には時間がかかりそう。
大阪		10月の販売量は9月より増加したが、H形鋼、一般形鋼とも稼働日数分は増えていない。メーカーの販売市営は強いいため値上げ分を各社転嫁していかなければならないが、荷動きに迫力がないため販売価格の押し上げに苦労している。中小物件が少ないため11月以降の荷動きは減少している。
兵庫		販売量も減少し、価格競争も激しくなっている現状でのメーカーの値上げ要請は到底受け入れられるものではない。

岡山	今年は6月、7月、8月がボトムであった。9月、10月は過去5年平均に比べ85～90%に戻ってきている。雇用調整金をもらっているお客様もまだいるようだ。大阪PL（無規）置場で1～2円、H形鋼も2～3円上がっている。
香川	中小の建築案件が減少し、倉からの出荷が減ったままである。この状況がしばらく続くと思われる。土木は四国各県底堅い状況だが、鋼矢板中心の動きであり、形鋼についてはまだまだの状況。
北九州	建築関連で既に動いている大型物件以外は製缶、産機、中小建築すべて低位安定の様子。倉出しの扱い量が増えてこない利益確保が難しい。11月もメーカーは値上げを唱えているので、相場を押し上げるのも急務であろう。
福岡	建機、自動車は回復したが、他分野は低調に推移。需要のない中、メーカー値上げもあり、採算的に厳しい状況。店売りはメーカー減産でタイト感があるが、需要は盛り上がり欠ける。